

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」実戦の道筋② はやぶさ2・638号 2024年02月17日(土)

\*売れない時代でも成長する方法はあります！

%company%

%free1%

%free2%

%name\_sama%

■中小企業経営者列伝、第11弾。4回シリーズ

★若き社長の「理念経営」の実戦事例

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」実戦の道筋

有限会社 ゼスト

代表取締役 佐藤 大輔氏

◆第1回 運送業の父の元に生まれて

◆第2回 気配りとお手伝いのブラック企業

◆第3回 「理念」の大切さに気付かされた社長デビュー

◆第4回 社員の幸せに一番近い人が社長をやるべき

~~~~~  
◆第2回 気配りとお手伝いのブラック企業

目次

- \*ブラック企業での貴重な経験
- \*仕事への取り組み方の大切さ
- \*「努力」を侮ることなかれ
- \*経営へのフィードバック

「経営者列伝」シリーズ、第2回目の今回は

「気配りとお手伝いのブラック企業」私が過去に得た貴重な経験とその教訓についてお話しします。

\*ブラック企業での貴重な経験

最初に運送、物流に就いたのは18歳でした。

父の運送会社でアルバイトとしてトラックに乗って物を運ぶ作業でした。

18歳でトラック？と今なら思うかも知れませんが、当時は普通免許でトラックに乗れたんです。

思い返すと、仕事は大変ではなく楽しいものでした。

荷物を持ってお客さんの所に行くと「来たかー！」と喜ばれたのが嬉しかったのが原体験です。

そして私の本格的なキャリアは、東京都足立区にある株式会社ムーブでスタートしました。

この会社は父の遠い親戚が経営していて、入社して間もなく父が亡くなったこともあり、

私にとっては思い出深い会社であり、たくさんのことを学ばせていただき感謝している会社でもありません。

この会社は今でいうブラック企業で、過度の残業や休日出勤が常態化しており、1日16時間年間300日働いていました。

営業として入社しましたが、現場が忙しい時は借り出されることもしばしばでした。

営業の仕事に関しては取ってきた仕事のお金を回収して完了なので、回収できないといつまでも終わらない…

終わりが決まらないのが一番辛かったですね。

しかし、仕事は率先してやっていました。

日曜日が休みでしたがイベントの輸送をしていたので、会場に赴いて顔を出しておく。

そうするとお客様から次の仕事を頂く、という大変でしたがプラスのスパイラルで仕事を取っていたので楽しかったです。

受注時の「できるできないは二の次で、お客様のニーズを第一に考える」という姿勢が身についたのはこの頃ですね。

現在では誤まった解釈で「情けをかけることは、結局はその人のためにならない（のすべきではない）」と思われてたりしている

「情けは人の為ならず」という言葉の、

「情けは人のためではなく、いずれは巡って自分に返ってくるのであるから、誰にでも親切にしておいた方が良い」

というのが本来の意味が理解できたと思います。

商売を自分で初めてみて、つくづく情けは人のためならずということを実感する毎日です。

あらためてことわざってすごいなあ〜って感じます。

先人の教えは本当に重みがあります。

噛み締めれば噛み締めるほど、なるほど〜ってうなってしまう。。

\*仕事への取り組み方の大切さ

振り返ってみるとムーブは、クライアントのニーズを理解し、それに応えることを最優先に考える姿勢を持った会社でした。

前述したとおりイベント機器の配送をメインに行っており、

イベントの設営のお手伝いや、レースでのピットクルーをドライバー全員が積極的に行うなど、

ただの配送業者にとどまらない価値を提供していました。

(株)ムーブはブラック企業なのに、驚くほど社員が辞めない会社でもあったのですが

一体何が彼らを留まらせているのか、そこに従業員満足の本質があるのではないかとともに思います。

これは当社でのお話なのですが、東北大震災時に行った物資の配送ボランティアをおこないました。

道路は寸断されており当初予定したルートは通れない。

それでも彼らは最善策をその場その場で考案して、必要な物資を被災地に届けました。

このとき、自ら考え行動する力と、使命感を持った社員の価値を再認識しました。

その場その場で考えながら動くことは、試合に負ける可能性も高まりますし

生産性と効率化だけを考えればある意味の回り道かもしれません。

しかし従業員は「戦える集団」になるのです。

つまり、お客様に感謝されることを喜びとし、それを使命として行動することができていれば

従業員は積極的に、よく考えて自ら動くのです。

「理念」の重要性を感じます。

ただし、このような労働環境自体は現在は通用しません。今の時代ではアウトです。

従業員にそこまでは求められないし、社会的コンプライアンスに違反して、人が集まりません。

そういう意味では反面教師であり、働き方の工夫（働き方改革）が求められている時代なのです。

今の時代にどう成立させるかよく考えないといけない事であるのです。

\*「努力」を侮ることなかれ

それから、

『努力した者が全て報われるとは限らん。しかし、成功した者は皆すべからく努力しておる！！』

これはアニメの『はじめの一步』で鴨川会長の言葉ですが、

「努力」することの重要性も再認識させられました。

自分の夢を叶えるためなら、努力ってして当たり前なんですね。

その当たり前のことを一番努力した人が叶えられるんでしょうね。

今でも、死にものぐるいの努力をしているか自問自答しています。

まだまだ本気じゃないんだと反省です。

いつになったら本気になるの？ って・・・

今本気じゃなかったらいつまでも本気になれないですよ。

努力が報われるかどうかはまずやってみた人にしかわからないことです。

\*経営へのフィードバック

それから㈱ムーブで会社の基幹システム構築プロジェクトに参加したことも、私にとって大きな経験でした。

畑違いの分野の「猛勉強」も今ではいい思い出ですが

IT を活用した業務効率化や、それをどのように経営に反映させるかを学ぶことで、

今日の私の経営スタイルにも影響を与えているだけでなく

「システム導入コンサルティング」という、当社の経営の柱の一つになっています。

㈱ムーブでの経験は、現代のコンプライアンスからは確かに多くの課題も抱えていましたが、

お客様第一の姿勢や、困難な状況でも前進し続ける精神、さらには IT を駆使した経営の合理化など、多くの価値ある学びを私にもたらしました。

株式会社ムーブでの経験は、私にとって二つ目の源流となりました。

現在の私の「経営理念の基盤」となっています。

執筆：(株)I&C・HosBiz センター　はやぶさ編集長 岩下 一智

いかがでしたでしょうか？

次号は

若き社長の「理念経営」の実戦事例

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」実戦の道筋

有限会社 ゼスト

代表取締役 佐藤 大輔氏

◆第3回 「理念」の大切さに気付かされた社長デビュー

をお届けいたします。

どうぞお楽しみに！

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍

### 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

\*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく申し上げます。

若き社長の「理念経営」の実戦事例

自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」実戦の道筋

有限会社 ゼスト

代表取締役 佐藤 大輔氏



◆第3回 「理念」の大切さに気付かされた社長デビュー

は、

第639号 24・02・23（金）にお送りいたします。

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC